



8月1日 臥竜公園竜ヶ池にてボート訓練を実施



須坂市消防団広報紙

さくら：消防団のシンボルマークは桜の花をモデルにしています

2021 11
(令和3年)

須坂市消防本部消防長の飯塚俊樹です。日頃、消防団員の皆様には、生業をお持ちの傍ら、有事の際には、献身的に迅速に消防活動にご尽力いただきありがとうございます。ことに深く感謝申し上げます。

全国各地で多発する自然災害、当須坂市におきましても一昨年発生した「令和元年東日本台風」災害において、甚大な被害が発生しました。甚大な被害が発生し、救助・消火活動等に尽力し、被害軽減に努めていただき、被軽減に消防団員の皆様の活動に対し、市民の皆様から厚い信頼を得たことであります。

現在、新型コロナウイルス禍の中であります。消防本部・署、消防団が両輪のごとく一体となり、市の防災・減災力を高め、地域住民の安全・安心のため、地域住民の安全・安心のため、ご協力をお願いします。ご理解ご協力をお願いします。

安全・安心のため



須坂市消防長
いづか としき
飯塚 俊樹

副団長就任にあたって



須坂市消防団副団長
やましろ いちろう
山岸 修一郎

本年四月からの副団長就任にあたり所信一端を申し上げます。

この消防団という組織は言わなくても地域防災の要です。いつ起るか分からない自然災害に連携しては、行政と密接に連携して活動を行うとともに、平時には地域住民の安心安全な暮らしを守るため、防災啓発活動を行っています。

二年前の台風十九号や今年度の熱海市の土石流など、実は全国では毎年一〇〇〇件以上の土砂災害が発生してはおり、消防団と名が付いてはおりませんが、近年は水防団としての役割を担う機会も増えてきています。

また、新型コロナウイルス感染症によつて、仕事や生活面において様々な変化が起り、その現状や必要性など、あり方についての検討課題も増えています。須坂市の未来のため、これからの時代にしっかりと時流に適応し、地元住民の皆様と本気で理解し、頂ける須坂市消防団であるべく活動してまいります。

市民の皆様方のさらなるご指導を賜りますようお願い申し上げます。

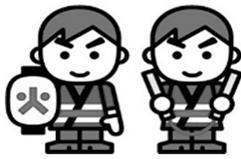
消防団とは

消防団は、本業を持ちながら「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護とボランティア精神に基づき組織された市町村の消防機関の一つです。

消防団員は、消防・防災に関する知識や技術を習得し、火災発生時における消火活動、地震や風水害などの大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導、災害防ぎょ活動などに従事し、昼夜を問わず地域住民の生命や財産を守るために活動しています。災害時以外には、訓練や災害を未然に防止するため火災予防、防火指導、特別警戒などを行っています。

消防団は地域防災の柱として、重要な役割を担っており、『大切な家族や地域を守りたい』そんな思いで活動している人間の集まりです。

須坂市消防団長
中村 公彦



消防団員の声



消防団活動で意識に変化

私は消防団に所属していた父の推薦で入団しました。入団当初は消防団がどんなことをするのかよく分からず、自衛隊のような訓練をする上下関係の厳しい組織だと思っていたので、仕事だけでも疲れるのに嫌だなと思っていました。しかし、大会の選手を経験したり親睦会や火災予防運動などを通して第三分団の先輩方に親身に接していただき、実際に火災や水害の現場で活動するうちに、被災されて辛い思いをしていたり困っている人のために、自分ができることをしたいこうという意識が変わっていききました。

消防団活動を通して市民生活の安心安全を支えるとともに、自分も知らないうちに誰かに支えてもらっていることを実感し、日々の何気ない日常に感謝するようになりました。災害が発生してしまったり、個人の力ではどうしようもありません。でも、皆の力を少しずつ集めれば乗り越えることもできます。微力ですが、誰かの支えになれるよう尽力したいと思います。

ポンプ操法大会を経験して

私は消防団がどんな活動をしているのかを知らずに入団しました。入団当初は朝からの規律訓練等が苦手であり、出席せず、当時の班長に迷惑をかけた事は今でも反省しています。

そんな時私もポンプ操法の選手に選ばれました。早朝からの不馴れな訓練期間は、一緒に選手をした仲間、懸命にご指導いただいたコーチ、練習に協力してくれた団員の皆さんのおかげがたまを感じ、私に出来る事はしたいと思ひ、消防団への気持ちが変わりました。

それからポンプ操法コーチを何度かやらせて頂き、短い期間で教えることの難しさや、二度目の選手が出来たことはよい経験だと思っております。

消防団に入団して十一年目になりますが、日々仕事をしながら消防団員としての役目はたすのは難しい事もあります。よい仲間とこれから地域の防災活動につとめていきたいです。



第3分団 1部部長 牧 利幸



第4分団 1部部長 田中 祐樹



▲消火栓を使つての放水訓練



▲河川等の自然水利を利用した放水訓練



▲市街地の放水訓練



▲土のう作りの水防訓練

「コロナ禍でも各分団で感染対策をしながら訓練を行っています」

須坂市消防団管轄区域 第5分団 1部 高畑町、旭ヶ丘町、北旭ヶ丘町、松川町、光ヶ丘ニュータウン 2部 南小河原町、小河原町、新田町 3部 小島町、豊島町 4部 相之島町、北相之島町 第6分団 1部 高梨町、五閑町 2部 塩川町 3部 沼目町 4部 八重森町 5部 村山町 第7分団 1部 井上町 2部 福島町 3部 中島町 4部 九反田町 5部 幸高町 6部 米持町

